



Influenza at the human-animal interface

動物由来インフルエンザ情報

2013年2月15日現在の概要と評価（2013年2月20日更新）

1 鳥インフルエンザ（A/H5N1）ウイルスによるヒトの感染症と関連した動物衛生事象

2003年から2013年2月15日までに、ヒトの鳥インフルエンザA（H5N1）ウイルス感染症で620例の検査確定症例が15カ国から公式にWHOに報告されました。うち367例は死亡例です。

2013年1月16日の最終更新以降では、10例の新しいヒトのインフルエンザA型（H5N1）ウイルス感染症の検査確定症例が、WHOに報告されました。

1月16日以降、カンボジア政府は、インフルエンザA（H5N1）ウイルス感染症で7例の新しいヒトの症例（6例は死亡例）を報告しました。症例はすべて南カンボジアにある四つの州の出身です。これらの症例は、関係しているようには思えませんが、殆どは村で病気の家禽との接触がありました。監視調査（サーベイランス）が強化されましたが、これらの症例と関係した追加の症例は発生しませんでした。現在の証拠では、ヒト-ヒト感染を支持していません。カンボジアではA(H5N1)ウイルスは家禽に特有であり、太陰暦の新年（2月19日頃）の前後には多くの家禽とヒトの移動があることが示されています。

エジプトからは、ベヘラ（behera）県でインフルエンザA(H5N1)ウイルスの感染症で1例の新しい症例が報告されました。A(H5N1)ウイルスは、エジプトのいくつかの地域では家禽特有の病気になっていますが、加えて、ヒトの散発症例の可能性もあります。

2013年2月10日に、中国はインフルエンザA(H5N1)ウイルス感染症で2例の新しいヒトの感染症例を報告しました。両方とも重態です。症例は同じ出身地ですが、疫学的に関係しているようには思えません。病気で死んだ家禽との接触があるかどうかは記録されませんでした。接触者の追跡は進行中ですが、追加の症例は確認されていません。中国本土のA(H5N1)の公式報告は、2012年9月の広東省からの報告が最後でした。

発生国	発生地	年齢	性別	発症日	入院日	リハビリ治療開始日	死亡日	暴露源
カンボジア	Phnom Penh	8ヶ月	男性	8/1/2013	不詳	不詳	不詳	家禽
"	Takeo	15才	女性	11/1/2013	17/1/2013	"	21/1/2013	病気で死んだ家禽
"	Kanbonspeu	35才	男性	13/1/2013	21/1/2013	"	21/1/2013	
"	Kamponspeu	18ヶ月	女性	13/1/2013	17/1/2013	"	28/1/2013	
"	Kampot	9才	女性	19/1/2013	27/1/2013	"	28/1/2013	
"	Takeo	5才	女性	25/1/2013	31/1/2013	"	7/2/2013	
"	Kampot	3才	女性	3/2/2013	6/2/2013	"	13/2/2013	
中国	広東省	21才	女性	3/2/2013	8/2/2013	"	不詳	接触者の記載なし
"	広東省	31才	男性	3/2/2013	8/2/2013	"	"	
エジプト	Behera	36才	女性	16/1/2013	20/1/2013	20/1/2013	26/1/2013	病気の家禽

鳥インフルエンザA（H5N1）ウイルスの公衆衛生リスク評価

インフルエンザウイルスは家禽を循環しており、ヒトの症例の散発的感染症例や小規模の集団発生は、特に、家庭で飼育している感染家禽に接触する人々に可能性があります。しかし、現時点では、このH5N1ウイルスは人々に簡単には感染せず、このウイルスが地域社会へ拡散するリスクは低いものと考えられるため、このウイルスが関係する公衆衛生リスクは変わっていません。

Number of Confirmed Human H5N1 Cases
by month of onset as of 2013-02-15

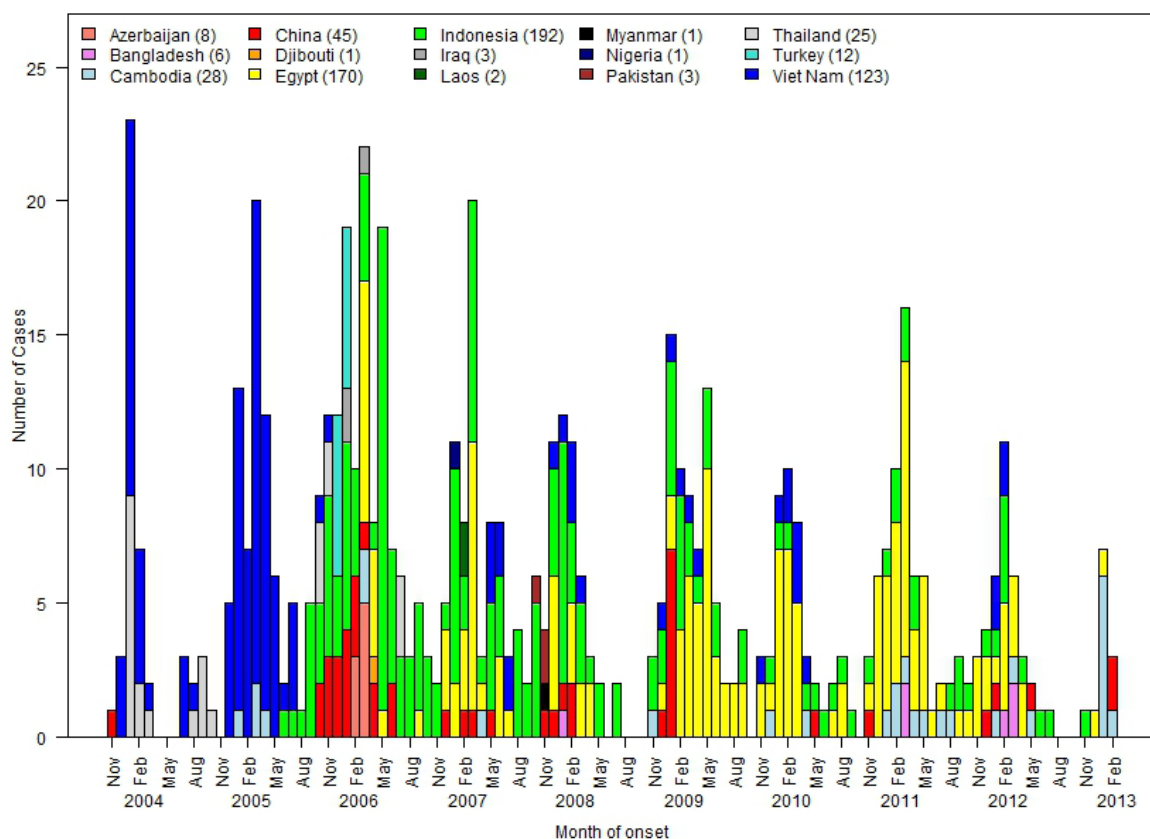
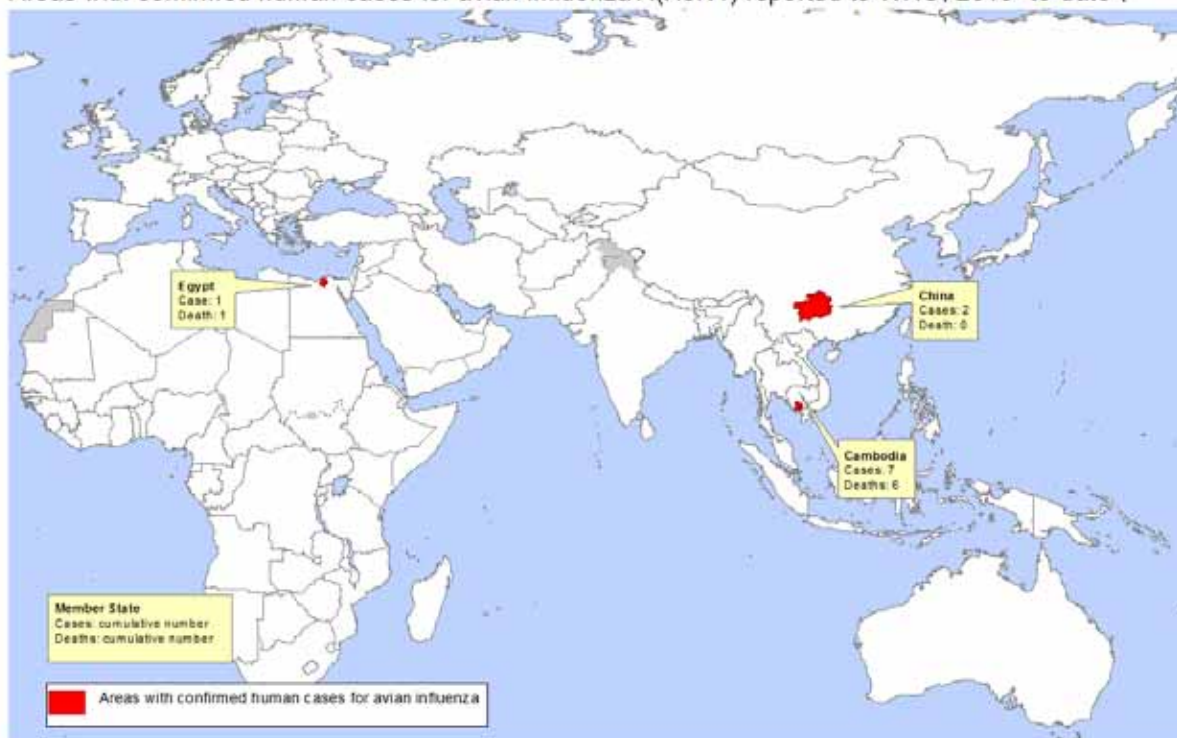


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の疫学統計

Areas with confirmed human cases for avian influenza A(H5N1) reported to WHO, 2013- to-date*.



*All dates refer to onset of illness
Data as of 15 February 2013
Source: WHO/GIP

This information is provided and the presentation of the material in this publication is not intended to constitute any form of endorsement or approval by the World Health Organization of the products, methods, or procedures mentioned in this publication. It is intended to provide information only. The World Health Organization is not responsible for any errors or for any consequences arising from the use of the information contained in this publication. © WHO 2013. All rights reserved.

図2 2013年のヒトの鳥インフルエンザH5N1症例の発生地

2 ヒト流行型以外のインフルエンザウイルスによるヒトの感染症

A (H3N2) 変異型ウイルス感染症

変異型インフルエンザA (H3N2)v 感染症の新しいヒトの症例は、アメリカ合衆国や他の地域からは報告されませんでした。

変異型A型 (H3N2) インフルエンザウイルスの総合的公衆衛生リスク評価

このウイルスはアメリカ合衆国でブタ集団に循環しているため、更なるヒトの症例と小さな集団発生が予測されるかもしれません。状況とウイルスの継続した緻密な監視が必要です。

- **潜在的公衆衛生の脅威である高病原性鳥インフルエンザウイルスの動物の集団発生**

全体として、動物のインフルエンザの集団発生の公式報告は、過去数ヶ月間に増加しました。この季節パターンは、北半球での冬の始まりを想定させます。

インフルエンザウイルスが絶え間なく進化する性質があるため、WHOはインフルエンザウイルスの世界的監視調査の重要性を強調し続けており、日常のインフルエンザ発生動向調査を強化するよう、すべての加盟国に依頼しています。

このような季節性以外のインフルエンザウイルスによるすべてのヒトの感染症は、国際保健規則 (2005) に従い、WHOに報告しなければなりません。

平成 25 年 (2013 年) 2 月 20 日

滋賀県衛生科学センター
健康危機管理情報センター 仮訳